



2020年5月14日

各 位

会 社 名 トレイダーズホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 金丸 勲  
(JASDAQ・コード 8704 )  
問合せ先 執行役員 CFO 朝倉 基治  
(TEL 03-4330-4700 (代表))

## 個別決算における特別損失の計上、繰延税金資産の計上 及び通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2020年3月期第4四半期連結会計期間（2020年1月1日～2020年3月31日）の個別決算において特別損失の計上並びに当社及び当社連結子会社において繰延税金資産の計上を行うとともに、2020年2月14日に公表いたしました2020年3月期の通期連結業績予想値と実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、個別決算における当該特別損失は、連結決算において全額消去されることから、連結業績への影響はございません。

### 記

#### 1. 特別損失の内容

##### 貸倒引当金繰入額（個別）

当社子会社である株式会社ZEエナジーに対する貸付金等の債権に関しては、個別決算において前四半期連結会計期間末（2019年12月31日）までに3,217百万円の貸倒引当金を計上しておりますが、当第4四半期連結会計期間において、同社の債務超過額が増加したこと及び同社への債権額が増加したことにより、貸倒引当金繰入額87百万円を特別損失として計上いたしました。なお、上記のとおり、個別決算における当該特別損失は、連結決算において全額消去されることから、連結業績への影響はございません。

#### 2. 繰延税金資産の計上について

##### 法人税等調整額（連結・個別）

当社は、2021年3月期より連結納税制度を適用することに伴い、2020年3月期及び今後の業績見通し等を踏まえて、繰延税金資産の回収可能性を慎重に見直した結果、2020年3月期第4四半期会計期間において、回収可能性のある部分について繰延税金資産を計上し、法人税等調整額を連結で△193百万円、個別で△272百万円（△は利益）計上することといたしました。

### 3. 通期連結業績予想値と実績値との差異

2020年3月期の通期連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

（単位：百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	5,920	1,940	1,880	1,540	10円56銭
<b>実績値 (B)</b>	<b>6,677</b>	<b>2,542</b>	<b>2,450</b>	<b>2,227</b>	<b>15円28銭</b>
増減額 (B-A)	757	602	570	687	
増減率 (%)	12.8	31.1	30.3	44.6	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	4,654	1,061	864	124	1円20銭

#### <差異が生じた理由>

当社は、2020年3月期第3四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年12月31日）の業績を踏まえ、2020年2月14日に業績予想値を公表いたしました。下記のとおり当第4四半期連結会計期間の実績値が予想値と乖離したことにより、差異が生じました。

営業収益は、予想値5,920百万円に対して実績値6,677百万円と757百万円増加しました。これは主に、 트레이ダーズ証券株式会社（以下、「トレーダーズ証券」といいます。）の当第4四半期連結会計期間のFXトレーディング収益が、FX相場のボラティリティ（変動）が高まったことで増加し、実績値が予想値を571百万円上回ったこと及び株式会社Nextop.Asia（以下、「Nextop.Asia」といいます。）の当第4四半期連結会計期間の外部売上の実績値が予想値を159百万円上回ったことによります。

営業利益は、予想値1,940百万円に対して実績値2,542百万円と602百万円増加しました。これは主に、上記営業収益が757百万円増加したものの、完成工事原価及びその他原価の実績値が予想値を62百万円上回ったこと、トレーダーズ証券の広告宣伝費の実績値が予想値を41百万円上回ったこと並びにグループ従業員の増加に伴う給与・福利厚生費等の人件費の実績値が予想値を53百万円上回ったことによります。

経常利益は、予想値1,880百万円に対して実績値2,450百万円と570百万円増加しました。これは主に、営業利益の実績値が予想値を602百万円上回ったものの、当第4四半期連結会計期間において為替差損が31百万円発生したことによります。

親会社株主に帰属する当期純利益は、予想値1,540百万円に対して実績値2,227百万円と687百万円増加しました。これは主に、経常利益の実績値が予想値を570百万円上回ったことに加え、当第4四半期連結会計期間においてトレーダーズ証券及びNextop.Asiaの利益が増加したことで、法人税等の実績値が予想値を130百万円上回り利益差異が減少したものの、上記「2. 繰延税金資産の計上について」で記載しました法人税等調整額の実績値が予想値を△255百万円上回ったことにより利益差異が増加したことによります。

以上